

令和2年度 阿倍野区運営方針

(区長:山田 国広)

◆計画

区の目標（何をめざすのか）

誰もが住みたい、住み続けたいまち「あべの」の実現

区の使命（どのような役割を担うのか）

区民一人ひとりの人権が尊重され、子どもから高齢者までそれぞれの視点にたった質の高いサービスと市政・区政の情報をきめ細かく提供するとともに、区民のニーズを的確に把握し、区政運営に反映します。
区民主体のまちづくり活動を支援するとともに、区民との協働により地域課題の解決と地域コミュニティづくりを推進します。

令和2年度 区運営の基本的な考え方（区長の方針）

誰もが住みたい、住み続けたいまち「あべの」の実現に向けて、区将来ビジョンに掲げた5本柱「①誰もが安全・安心して暮らせるまち」「②高い教育力を持ち、子ども・青少年を健やかに育むまち」「③地域で支えあい、誰もが幸せに暮らせるまち」「④魅力と活力にあふれるまち」「⑤区民から信頼される区役所づくり」の施策について、区政会議等での意見を踏まえ、区の特性や地域の実情に即した事業を行うとともに、区長の特色ある施策事業の取組みを進めます。

重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題1 誰もが安全・安心して暮らせるまち】 地域団体、関係機関などと連携し、災害や犯罪・事故など区民の生活に影響を与えるさまざまなリスクに対処する仕組みをつくり、総合的な危機管理機能を拡充します。	【1-1 災害に強く、誰もが安心して住める安全・安心のまち】 区民一人ひとりの防災意識を広く高め、地域の自主防災活動を支援し、「災害に強い」まちづくりを図ります。

主な具体的取組（2年度予算額）

【1-1-1 区防災事業(地域防災力の向上)】(予算額 6,009千円)
○災害に備え、日頃の備えや「自助(自身、家族)」、「共助(近所、地域)」の大切さ、「各地区防災計画」や、災害時の避難場所(一時集合場所、一時避難場所、災害時避難所等)など区民一人ひとりの災害に対する知識やスキルの習得及び防災力のさらなる向上を図ります。
○地域の災害時対応のスキルの向上や地域コミュニティの醸成を図ります。
○日中の災害を想定し、中学生等の若年者層への意識啓発や災害に関する知識やスキルの習得を推進します。
○災害発生時における医療救護活動の初期初動体制を強化するため、応急的な治療に必要な医薬品等の整備を循環型備蓄(ローリングストック)により実施します。

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題2 高い教育力を持ち、子ども・青少年を健やかに育むまち】 みんなが誇れる教育トップのまちづくり・子育てしやすいまちづくりをめざし、保護者・地域・学校園が連携し、子ども・青少年を健やかに育む取組みを支援します。	【2-2 子育てしやすく、子ども・青少年が健やかに育める環境づくり】 子育て世代が安心して子育てができるよう様々なニーズに対応し、きめ細やかな取組みを行い、子ども・青少年の健やかな成長を支える地域の取組みを支援します。

主な具体的取組（2年度予算額）

【2-2-3 児童虐待対策の促進】(予算額 10,792千円)
○児童虐待防止アウトリーチ事業:児童虐待の未然防止やリスクの軽減を図るため、社会福祉士等の専門技術や知識を有する職員等を配置して、ハイリスクケース又は潜在的に虐待リスクの高い家庭を早期に発見し、早期対応を行います。
○区要保護児童対策地域協議会:虐待を受けている子どもをはじめとする支援対象児童等の早期発見や適切な保護を図るために、関係機関等がその子ども等に関する情報や考え方を共有し、適切な連携の下で対応していくための協議会を運営します。

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題3 地域で支えあい、誰もが幸せに暮らせるまち】 阿倍野区に暮らす、すべての人々が住みなれた地域で、お互いが支えあい、いつまでも幸せに暮らせるまちをめざします。	【3-1 地域でお互いが支えあい、幸せに暮らせる仕組みづくり】 地域における福祉課題を地域が把握し、解決できる仕組みづくりの構築に向けた支援に取り組みます。また、阿倍野区で地域福祉活動を進める団体や福祉関係機関などと連携し、地域でお互いが支えあう福祉コミュニティづくりを進めます。

主な具体的取組（2年度予算額）

【3-1-1 地域による見守り体制の充実】(予算額 36,428千円)
○要援護者の実態把握から地域の福祉課題やニーズの把握を行い、地域自らが見守り体制等を構築し、新たなネットワークづくりができるよう支援します。
○また、「あべのオレンジメール」や「あべのあんしんステーション」の取組みにより、認知症高齢者等に対する地域での見守りの広がりを支援していきます。

経営課題の概要	主な戦略
【経営課題4 魅力と活力にあふれるまち】 地域や関係機関等の協働により、人・団体等が交流し、にぎわいとるおいのあるまちづくりと地域住民による自律的な地域運営と豊かなコミュニティの形成による活力あふれるまちづくりを支援します。	【4-1 地域の自律的なまちづくりの活動支援・促進】 地域活動協議会のめざすべき姿に向けて、地域の実情に即したきめ細かな支援を行い、仕組みの定着を図ることで、より多くの住民参加による自律的な地域運営を実現します。
主な具体的取組（2年度予算額）	
【4-1-1 人と人とのつながりづくりの推進】 （予算額 9,051千円） ○豊かなコミュニティづくりの形成を目的に全区民を対象に、地域活動団体、市民活動団体、企業等、区民ボランティアと協働しながら誰もが楽しめる交流の場を提供します。 ○人と人とのつながりづくりのための取組みへの支援を行います。	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題5 区民から信頼される区役所づくり】 区民の意見やニーズを的確に把握し、施策・事業に反映します。また、区民・利用者の視点に立った質の高いサービスの提供や情報発信の強化など効果的・効率的な区政運営をめざします。	【5-1 区民の意見やニーズに的確に対応する仕組みづくりと発信力の強化】 区政会議などを活用し、区における施策や事業について、企画・計画段階でのご意見、その成果にかかる評価に対してのご意見、表面化しにくいものも含めた多様な区民の意見やニーズを的確に把握し、施策・事業に反映します。また、区民が必要な区政に関する情報をきめ細やかに発信します。
主な具体的取組（2年度予算額）	
【5-1-1 区の広報事業】 （予算額 19,781千円） ○区の様々な取組みや区政情報が広く区民に届くよう、広報紙を年間を通して全戸配布します。 ○ホームページ、SNS（ツイッター、LINE）、広報掲示板を活用し、即時性のある情報発信を行います。 ○YouTube動画を毎月配信し、広報紙とSNSでの情報発信の相乗効果を図ります。	

「市政改革プラン3.0」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
区役所庁舎内等施設や広報媒体を活用した広告収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> 区役所庁舎内等の施設を活用した広告、区の広報紙・ホームページなど広報媒体を活用した広告による収入の確保をめざします。 ホームページを活用した広告については、大阪市協力広告代理店制度なども利用して広告主の獲得に努めます。
主な取組項目	取組内容
国民健康保険料・介護保険料の収納率向上	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険制度の安定的運営のための財政基盤強化 負担の公平を一層強く意識した事業運営に努め、区長マネジメントによる取組みを実施し、収納率の向上を図り、未収金残高の減少に努めます。 介護保険制度の安定運営 加入者間の保険料負担の公平性確保

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

平成29年4月に策定した「区将来ビジョン」に基づき、区政会議等で区民のみなさまからいただいた多様なご意見をふまえ各取り組みを実施しました。

経営課題1【誰もが安全・安心して暮らせるまち】

- ・災害に備えて地域住民に対し、災害に対する知識やスキルの習得および向上を図るための啓発をはじめ、中学生等の若年者層への意識啓発や災害に関する知識やスキルの習得の推進を図りました。また、コロナ禍における避難所開設運営マニュアルを作成し、地域の自主防災組織へ説明を行い、さらなる活動内容の充実や組織力の向上を図りました。各取り組みを継続的に実施することにより「災害に強い」まちづくりに寄与できたと考えます。
- ・街頭犯罪発生件数を減少させるために、特に自転車盗に対する啓発などの取り組みが必要であり、警察及び地域と連携した啓発等に継続して取り組みます。
- ・自転車マナーの啓発活動や学校園等でのDVDを活用した交通安全教室の開催等は、自転車運転マナーの向上に向けた取り組みとして有効であり、継続して取り組みを進めます。
- ・継続的に実施していた地域住民と協働した啓発活動等の取り組みは職員のみでの実施となりましたが、放置自転車台数の抑制に寄与できたものと考えます。

経営課題2【高い教育力を持ち、子ども・青少年を健やかに育むまち】

- ・子どもの体力向上事業を今年度から新たに実施し、主に運動が苦手な児童に対して効果的な働きかけを行うことができました。またグローバル人材育成支援事業を実施することで、児童・生徒の英語への興味関心が高まりました。
- ・学校園支援ボランティア人材募集事業により、地域の教育資源と学校教育につながりをもたせることができ、また教員サポート講習会では各校の課題解決の取り組みに寄与することができました。
- ・子どもの生命・身体の安全が損なわれたり、孤立したりすることのないよう、不登校児などの相談支援事業に取り組んだ結果、多くの相談者の不安感・負担感の軽減が図られました。
- ・青少年指導員や青少年福祉委員による青少年の健全な育成を図るための諸活動を支援することにより、継続的な青少年の非行防止が図られていると考えます。

経営課題3【地域で支えあい、誰もが幸せに暮らせるまち】

- ・地域福祉コーディネーターを軸として、地域の要援護者の把握や見守りボランティア活動を継続的に取り組んだことにより、要援護者の見守り体制の充実、地域で世代を超えて相互に支え合う体制の拡充・強化がさらに図られたと考えます。
- ・今後、さらに地域で実施されている様々な活動について関心を持ってもらえるように新たに策定した阿倍野区地域福祉推進計画の周知・啓発を行い、「地域福祉」の推進と認知度向上を図ります。
- ・特定健診の受診率は横ばいであり、更なる受診率向上に向けた取り組みを進めていく必要があります。
- ・あべのウォークは区民への周知が進んできており、運動の習慣化にも一定の効果があったと考えます。今後も引き続き、あべのウォークに参加していない年齢層への普及啓発、情報提供を重点的に行う必要があります。

経営課題4【魅力と活力にあふれるまち】

- ・地域活動協議会補助金の交付をはじめ、中間支援組織(阿倍野区まちづくりセンター)を活用した地域活動協議会への支援を進めており、区内全10地域の地域活動協議会においては、地域課題解決のための各種取り組みが実施されており、住民主体のまちづくりが進み一定の成果は得られたものと考えます。しかし、新たな担い手不足などの課題もあるため、引き続き各地域活動協議会の特色やニーズに合った支援を行っていきます。
- ・あべの・天王寺ターミナル周辺を中心とした阿倍野区内の魅力ある施設やイベント等を区内外に向けて情報発信を行うことにより、にぎわい創出につながると考えます。今後も継続的に、地域等と連携して情報発信を行えるように取り組みを進めていきます。

経営課題5【区民から信頼される区役所づくり】

- ・区民アンケートにより区民の意見やニーズを把握するとともに、区政会議での意見・提案を事業に反映できましたが、今後も区の特性や地域実情に応じた取り組みに努めてまいります。
- ・情報収集の手法が多様化している中で、さまざまな情報発信ツールを活用して情報発信しました。今年度から年間通じて全戸配布をするとともに、WEBツールとしてFacebookを開始し、より一層の情報発信に努めました。来年度は広報紙について、広報紙のページ数を増やし年間を通じて必要な情報がよりわかりやすく届くよう取り組みます。
- ・区民からの意見・評価を把握し改善につなげる取り組みや職員の実務能力を向上させる取り組みにより、区民にとってわかりやすく利用しやすい窓口対応に努め、大阪市の「来庁者等に対する窓口サービス」の格付け結果において、7年連続で「星2つ(民間の窓口を上回るレベル)」を獲得することができました。
- ・職員の気づきやチャレンジ意識を引き出す取り組み等により、職員一人ひとりの行政のプロとしての意識向上につなげることができたと考えます。

解決すべき課題と今後の改善方向

「誰もが住みたい、住み続けたいまち『あべの』」の実現に向けて、令和3年4月策定「区将来ビジョン」に基づき、次の5つの柱に沿って、区の特性や地域の実情に応じた課題認識のもと取組みを進めてまいります。

経営課題1【安全と安心を未来につなぐまち】

地域団体、関係機関などと連携し、災害や犯罪・交通事故など区民の生活に影響を与えるさまざまなリスクに対処する仕組みをつくり、総合的な危機管理機能を拡充します。

- ・区民一人ひとりが家庭内備蓄など日ごろの備えに加え、コロナ禍においての避難の方法など啓発を行い、地域特性に応じた地域の自主的な防災の取組みを確実に実施できるよう支援するとともに、若年者層への意識啓発の取組みなどを着実に実施します。また、SNSの活用等新たな情報伝達手段の拡充を図り、災害に強いまちづくりを推進します。
- ・地域や警察等関係機関と連携し、出前講座の実施や各種の広報媒体を使った啓発など、区民の安全を守る取組みを進めるとともに、時節、対象に応じた啓発を行います。

経営課題2【子ども・青少年が安心して教育を受け、成長できるまち】

ICTを効果的に取り入れた学校教育のサポートと、子育てしやすいまちづくりをめざし、保護者・地域・学校園が連携し、子ども・青少年を健やかに育む取組みを支援します。

- ・小中学校の蓄積・特色を活かした、さらなる学力・体力の向上を支援するとともに、不登校等の課題への取組みも進めます。また、全小中学校における学習用ICT機器の1人1台導入を機に、ICTを安全に活用した学校教育の推進を支援していきます。さらに不登校等の課題への対応としてもICTを活用するなど、新たな生活様式のもと有効な手法を積極的に取り入れ、すべての子どもがそれぞれの夢を実現するために、たくましくチャレンジできるようサポートします。
- ・子育て世代が安心して子育てができるよう様々なニーズに対応し、きめ細やかな取組みを行い、子ども・青少年の健やかな成長を支える地域の取組みを支援します。また、専門技術や知識を有する職員を配置し、関係機関と連携して訪問支援を行うなどにより、早期発見・対応に努め、児童虐待の未然防止やリスクの軽減を図ります。

経営課題3【誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまち】

阿倍野区に暮らす、すべての人々が住みなれた地域で、人として尊重され、お互いが支えあい、自分らしくいつまでも安心して幸せに暮らせるまちをめざします。

- ・地域にかかわるすべての人や団体等が、誰もが幸せに暮らせるまちをめざして連携・協働して環境の変化に応じた地域福祉活動に取り組むとともに、地域の包括的な支援体制の充実に努めます。
- ・区民一人ひとりの健康意識を高め、「新しい生活様式」を取り入れるなど感染症予防に配慮した方法で、主体的に健康づくりに取り組めるよう支援します。また、「あべのウォーク」「いきいき百歳体操」の新規参加者の開拓に向け、広報紙・ホームページ・SNSなどの活用により工夫した発信に努めます。

経営課題4【魅力と活力にあふれるまち】

地域や関係機関等の協働により、人・団体等が交流し、にぎわいとるおいのあるまちづくりと地域住民による自律的な地域運営と豊かなコミュニティの形成による活力あふれるまちづくりを支援します。

- ・地域活動協議会のめざすべき姿に向けて、地域の実情に即したきめ細かな支援を行い、仕組みの定着を図ることで、より多くの住民参加による自律的な地域運営を実現します。また、身近な地域の課題等の解決に向け、さまざまな活動主体の協働・連携による地域活動を支援します。さらに、コミュニティづくりの形成を目的に全区民を対象に、地域活動団体等と協働しながら誰もが楽しめる交流の場を提供します。
- ・区内外から人が集い、にぎわいにあふれ、美しくるおいのあるまちづくりを進めるため、区内の魅力資源を「あべのブランド」として積極的にアピールするなど、誰もが自慢したくなる魅力情報の発信に努めるとともに、区内全域の回遊性を高めます。さらに、地域団体・企業によるイベント等、にぎわいづくりの取組みを支援します。

経営課題5【区民から信頼される区役所づくり】

区民の意見やニーズを的確に把握し、施策・事業に反映します。また、区民・利用者の視点に立った質の高いサービスの提供や情報発信の強化など効果的・効率的な区政運営をめざします。

- ・区政会議や各種アンケート調査などを活用し、区における施策や事業について、企画・計画段階でのご意見、その成果にかかる評価に対してのご意見、表面化しにくいものも含めた多様な区民の意見やニーズを的確に把握し、施策・事業に反映します。また、区民が必要な区政に関する情報を広報紙(全戸配布)、広報掲示板、ホームページ、SNSを活用してきめ細やかに発信します。
- ・利便性の高いサービスを提供できるよう、オンライン化を進めるなど、区民にとってわかりやすく利用しやすい窓口の実現に取り組めます。また、改革を推進する職員づくりを進めていくため、職員の気づきやチャレンジ意識を引き出す取組みを進め、より区民から信頼される自律的な職員の育成と区民サービスの向上を進めます。